

編 集 後 記

平成 25 年度から本誌の編集委員になり、3 年が過ぎようとしています。皆様からの症例報告や短報の投稿数も増え、査読に追われる毎日です。

ご存じのように、本誌は第 55 巻 1 号からオープンアクセス可能な電子ジャーナルに移行し、神経学会会員のみならず一般の読者にも、自由に閲覧可能になりました。その結果、患者および患者家族の方も神経疾患に関する情報を得やすくなり、本誌の果たす役割はさらに重要になってきました。そのため、わかりやすい正確な記載が求められます。

本誌の編集委員の一人として、論文の査読をする際に、自分は本論文を査読するに値する人物なのか、偏った知識で査読をしていないか、本誌の存在価値は何か、何の目的で誰のために人は論文を書いているのかなど、様々なことを考えます。一方、投稿する側も、同じ苦勞するのなら英文誌の方が得ではないか、impact factor がある雑誌の方が大学での評価も高いのではないかなど、様々な想いで投稿されているかも知れません。

本誌は 1960 年に発刊され、50 年以上の歴史を持つ神経内科専門誌です。厳しい査読を受け、修正を繰り返し、一定の基準に到達した論文のみが掲載されます。一度 reject された論文は再投稿されても掲載されることはありません。

COI も含めて正確な記載を要求されます。世界的基準で、timely に投稿された優れた論文のみが掲載されます。一旦 accept されれば、短期間に on-line 上で公開され、また、英文抄録は PubMed/MEDLINE にも掲載されますので、自分の考えを世界に即座に発信することができます。単なる 1 例報告ではなく、誰も知らない、1 例しかない貴重な症例をまず本誌に掲載し、その後、類似例を含めて少数例が集まった時点で、本誌に掲載した症例報告を引用して、さらなる step up も兼ねて英文誌に投稿してはいかがでしょうか。

忙しい日々の臨床を通して、いつもとは何か違う、まだ知られていない徴候や画像所見、あるいは意外性を発見した場合に、それを論文として残し、後生に伝え、世界に発信することが重要です。いつか誰かが類似例を経験した際に、PubMed で検索し、その論文を目にすることにより、診断や治療の一助となり、またその論文を引用してくれることでしょう。

是非、本誌への投稿を介して論文投稿のスキルを磨いてください。皆様からのさらなる投稿をお待ちしております。

(飯塚高浩)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

〔臨床神経学〕 第56巻 第3号 平成28年3月1日発行
 編 集 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発 行 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 高橋 良輔
 印 刷 所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>